三重教務所通信

2023 12月号

発行人:三重教務所長　長澤 隆司
〒511-0073 桑名市北寺町 47 教務所開所時間 平日 9:00～17:00
☎:0594-21-8000 FAX:0594-21-8010
三重教務所 E-mail mie@higashihonganji.or.jp
桑名別院本統寺・三重教区HPアドレス http://mie-betsuin.com/

○第1回「慶讃事業推進委員会」開催

１０月３１日に三重教区宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃事業推進委員会が開催され、三重教区における慶讃事業の推進並びに教化機構の再構築に向けた検討・企画の取り組みがはじまりました。

この委員会は、今夏の教区会及び教区門徒会で当委員会規則が可決承認され、初めての委員会となります。

初めに、長澤三重教務所長から委員の皆さまへ委嘱状の伝達（代表伝達：員辨暁委員）が行われました。

【三重教区慶讃事業推進委員会名簿】2023 年 10 月 31 日現在

NO	氏名	組	所属寺	備考
1	伊藤　誓英	桑名	明圓寺	
2	林　　恒男		明圓寺	副委員長
3	林　　謙介		明圓寺	常任委員
4	和田　清一		西恩寺	
5	飯田　弘登		福榮寺	
6	内山　智廣		大信寺	
7	荒木　智哉		西光寺	
8	三枝　明史		空念寺	
9	伊藤　龍治		空念寺	
10	長崎　　直	長島	善明寺	
11	藤﨑　周子		淨福寺	
12	伊東　幸典		正敬寺	
13	佐々木智教		深行寺	
14	員辨　　暁	員弁	圓光寺	委員長
15	石川 加代子		西方寺	常任委員
16	佐々木 治実		傳西寺	
17	三浦　　統		覺通寺	
18	渡邉　憲明		圓授寺	
19	渡邊　　誉		西願寺	
20	入野　宣親		了雲寺	
21	伊藤　　康	三講	善行寺	
22	本多　　益		光明寺	
23	栗田　　顯	三重	乘得寺	

NO	氏名	組	所属寺	備考
24	渡邉　　恵	三重	敬福寺	
25	中川　和子		常願寺	
26	坂口　　愛		長傳寺	
27	柴田　　徹	四日市	歷明寺	常任委員
28	髙木　　彩		信光寺	
29	鈴木　勘吾		法藏寺	常任委員
30	本田　武彦		蓮生寺	
31	大橋　宏雄	中勢１	淨願寺	
32	樫　　歩		安養寺	常任委員
33	海野　真人	中勢２	法因寺	
34	石原　　孝		法因寺	常任委員
35	松井　茂樹		淨得寺	
36	髙野　昭麿	伊賀	專稱寺	
37	折戸 沙紀子	南勢１	法受寺	
38	西寺　真也		本覺寺	常任委員
39	酒井　　誠		道淨寺	常任委員
40	河村　　論		教樂寺	
41	小幡　智博		西光寺	
42	小幡　実穂		西光寺	
43	米澤　典之		常照寺	
44	山崎　信之	南勢２	福壽寺	
45	藤谷　智史		立雲寺	
46	岩田　信行		道專寺	

次に、規則に従って、正副委員長の互選が行われ、委員長には員辨暁委員（教区会議長）が副委員長には林恒男委員（教区門徒会長）がそれぞれ互選されました。続いて常任委員の選定につきましては、教務所長から正副委員長を含めて１０名の委員に委嘱が行われました。※常任委員は本紙１Ｐに記載。

その後、委員長の進行により、今後の委員会のタイムスケジュールについて協議が行われ、これからの委員会の進め方並びに協議内容について確認されました。また、今後、委員会において慶讃事業推進について協議を行っていくにあたり、まず、常任委員会において事業の総計画概要（骨子案）を作成することが、今回の委員会（全体会）において決定いたしました。

第２回目の委員会（全体会）は、来年２月２１日（水）に開催予定です。委員会において、三重教区における慶讃事業をどのように取り組んでいくのか、３カ年を目途に協議が重ねられます。

慶讃事業推進委員会の様子

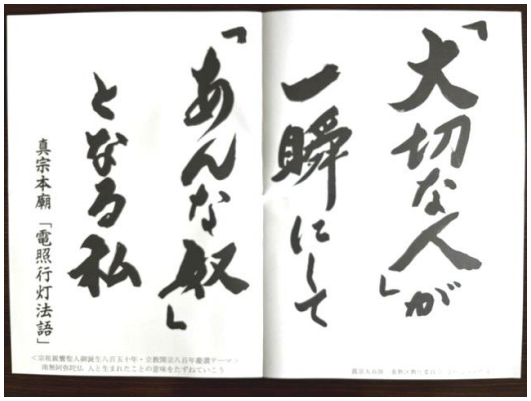
三重教区からのお知らせ

○法語ポスターについて（慶讃事業）

三重教区宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃事業「真宗の仏事の回復に資する事業」の取り組みとして、昨年に引き続き教区教化委員会にて法語ポスターを作成し、先月より１種類ずつ当通信に同封しています。

今月の言葉は、真宗本廟の門前に掲示されている「電照行灯法語」の言葉です。

是非、本堂や掲示板に貼っていただき、ご活用ください。



なお、筆耕は、池井　隆秀 氏（三講組佛念寺住職）です。

○研修会（公開）のおしらせ　詳細は、三重教区・桑名別院ホームページを参照ください

聖典基礎講座

◎期　　日　~~①９月２９日（金）~~、②１１月３０日（木）
③２０２４年１月２４日（水）、④３月２７日（水）、５月２９日（水）
◎時　　間　１３：３０ ～ １６：３０
◎会　　場　三重同朋会館
※　Zoom を使用したオンライン併用
◎講　　師　高柳　正裕　氏（学仏道場「回光舎」舎主）
◎テ ー マ　「仏に遇うー真実の自己・世界に遇うー」
◎参 加 費　３，０００円（年間５回分）
◎申し込み　三重教区・桑名別院ホームページ https://mie-betsuin.com//
から申し込みください。

得度義務研修会

◎日　時　２０２４年3月２９日（金）１０：００～１５：３０
◎会　場　桑名別院本堂（桑名市北寺町 47）
◎対　象　満９歳以上（得度受式時）で、２０２４年５月以降に得度受式を希望する者
※ 三重教区においては、得度出願の条件として、当研修会の受講が義務付けられています。
※ 詳細は同封の通知文（三重教発第２６号）をご参照ください。

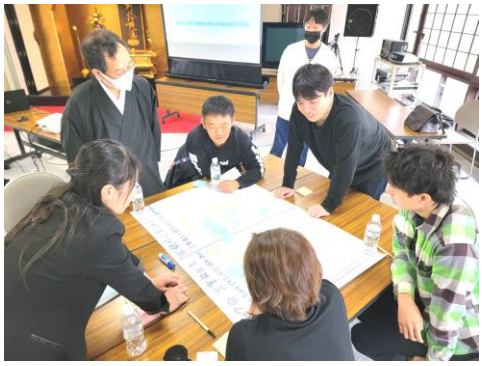
声明講習会の開催（教区准堂衆会主催）

得度考査の事前研修として、三重教区准堂衆会主催の声明講習会が、下記のとおり開催されますので、ぜひご参加ください。
期日：２０２４年１月２０日（土）及び２月１７日（土）
場所：桑名別院
対象：受式日に満９歳以上で、２０２４年５月以降に得度受式を希望する者
内容：正信偈（草四句目下）・念仏和讃三淘、仏説阿弥陀経

Ｄｉａｌｏｇｕｅ（ダイアローグ・対話）　―教区教化委員会報告―

○ 教区教化委員会

・１１月９日に「教区教化機構の再構築推進に向けたプレ講座」を開催。本講座は全教化委員４５名を対象として、本年度内１月から連続５回開催する「教化事業構築のための学習会」の事前講習として実施し、２５名が参加した。講座では５回の学習会で採用される「ワークショップ（グループ学習法）」の手法に慣れるとともに、「教化機構の改編」に至った過去５年間の経緯の確認と、再構築に向けた課題の共有を目的として進められた。宗派「真宗教化センター寺院活性化支援室」から２名、「教区寺院活性化支援室」から３名の支援員による進行の下、３班に分かれて委員一人ひとりが「意識の棚卸」を行うと共に①三重教区の強みと弱み。②教区の未来像。③３つの教区教化基本方針について活発な意見交換を行った。参加者からは「ワークショップでは漠然と考えていたことを自ら言葉にし、また他者の意見を聞くことで整理できた。３年後の『新教化体制構築』のスタートに向けて積極的に関わって行きたいと思う」など「学習会」参加への前向きな意見を聞くことができた。《髙》



ワークショップの様子

○ 教区坊守会

・１１月２日に、明年６月１９日開催予定の「真宗門徒の集い」打ち合わせ会議を、講師の藤場芳子氏・石川加代子坊守会長・西寺浄帆坊守会委員及び事務局で zoom を用いたオンラインで開催し、当日の講義内容について協議が行われ、この協議内容については１１月２４日の役員会で協議することを確認した。

・１１月２４日に教区坊守会役員会を開催した。

最初に１２月５日（火）開催予定の「第２回教区坊守講座」についてタイムテーブル、役割分担、当日使用するレジュメなどを再確認した。また、来年６月１９日（水）に開催予定の「真宗門徒のつどい」（講師：藤場芳子氏）について、開催場所、内容などを再検討した。次いで、桑名別院報恩講の加勢役割の担当者を決め、委員及び加勢の方それぞれに、周知と担当班のスケジュール表を送付した。

また、東海連区坊守研修会（当番：大垣教区）の参加奨励など、諸課題について協議した。とても協議事項が多く内容も煩雑であるため、役員会のみで決定することは難しいと判断し、坊守委員会を開き広く意見を求めることとなった。

・ 第２回教区坊守講座【講師】佐々木智教氏

日時：１２月５日（火）12：30～受付

会場：桑名別院聞光殿

・ 教区坊守委員会

日時：１２月１９日（火）13：00～開催予定

会場：三重同朋会館３階講堂

12 月のテレフォン法話

１２月　１日～１５日 ･･･中川 和子 氏 （三重組常願寺住職）

１２月１６日～３１日 ･･･員辨　 暁 氏 （員弁組圓光寺住職）

心をひらく　２４時間 いつでも どこでも テレホン法話

☎（0594）23-6191

本山からのお知らせ

○組門徒会員の任期満了に伴う改選について

２０２４年３月９日をもって任期満了となる組門徒会員の改選について、各寺院・教会において後任会員を選定くださるようお願いいたします。

なお、選定にあたっては、特に女性の宗門活動への積極的な参画を実現するため、女性組門徒会員の選出にご配慮ください。

① 選定・報告期限　２０２４年２月９日（金）までに当該組長に報告ください。

② 新組門徒会員任期　２０２４年３月１０日～２０２７年３月９日

今月の法語

人間は生死の苦しみをのがれようとして
生死に苦しんでいる

曾我 量深

晴耕雨読（教務所員から）

教務所主計：窪田昌展

先日、教務所職員の安藤さんが、お祖父さんが生前筆書きされた和歌のような半紙を持ってこられて、所員のみんなでこれは何だろうと話していました。その紙にはお寺の名前と表紙には「御詠歌（ごえいか）」と書かれていました。

「御詠歌」を調べてみると、「御詠歌は、漢語の経典や声明と異なり、和歌の賛仏歌として多くの宗派・寺院で採用されているが、起源は花山法皇が西国三十三所の各札所で詠まれた御製の和歌を後世の巡礼者が節をつけて巡礼歌として歌ったものであるとされている。西国三十三所の御詠歌は、宗派にもよるが近畿地方一円で死者を弔うために葬儀から四十九日法要まで親族によって毎夜唱えられたり、お盆の仏事において参加者全員で合唱する習慣などがある。」というものでした。どうやらお祖父さんが御詠歌を半紙に書かれて、それを大切にお内仏の中に保管していたようでした。昔からいろいろな方法で仏法を伝えようと先達が工夫されてきたのだなあと思いを馳せました。

ところで、この西国三十三所の結願・満願のお寺が、私の地元、岐阜県揖斐川町・谷汲山華厳寺（たにぐみさんけごんじ）です。谷汲山華厳寺は798 年（延暦 17 年）に豊然（ぶねん）上人が開創した天台宗のお寺です。西国三十三番満願霊場であり、満願を果たした巡礼者が着物を脱いで納める笈摺（おいずる）堂や、本堂の柱にかかる青銅の鯉に触れて精進落としをするなど独特の雰囲気が漂います。「たにぐみさん」の名で親しまれ、桜や紅葉の名所でも知られる場所です。

栗の王様「利平栗」の甘さにびっ栗！

私も毎年、桜と紅葉の季節に家族で行くのですが、参道には飲食店やお土産屋があり、先日も紅葉の時期ということで露店もたくさん出ていました。今年は暑い時期が長すぎて、紅葉があまり綺麗ではないという話を聞いていましたが、ここ最近の一日の寒暖差が良かったのか、もみじが参道いっぱいに赤く染まっており、とても綺麗で多くの観光客も来られて大賑わいでした。毎年この時期に参道で焼き栗を買うのが楽しみで、今年も「栗爺（じい）さん（尊敬を込めた我が家での愛称）」が元気に栗を焼いて大声で売っておられ、「ああ、今年も元気なお姿を拝見できて良かったな」と思いつつ、向かいのベンチで焼きたての焼き栗を美味しくいただきました。

日	曜	行事内容
1	金	
2	土	
3	日	
4	月	
5	火	第2回坊守講座 13:00-
6	水	児連定例会 13:30- 査察委員研修会 14:00-
7	木	教研月例会 13:30-
8	金	合唱団「ひかり」練習日 13:00-(於:聞光殿) ／ 部落差別等に関する協議会 13:30-
9	土	
10	日	中勢2組特伝本講座②13:30-(於:法因寺)
11	月	
12	火	特伝協議会 14:00-
13	水	
14	木	第１１次特伝第5ブロック座談会学習会②13:30-
15	金	合唱団「ひかり」練習日 13:00-(於:本堂)【報恩講リハーサル】
16	土	
17	日	
18	月	
19	火	坊守会委員会 13:00-
20	水	別院報恩講(～23日まで)
21	木	親鸞聖人讃仰講演会 14:45-
22	金	
23	土	
24	日	
25	月	
26	火	慶讃事業推進委員会常任委員会 10:00-
27	水	
28	木	
29	金	教務所年末年始事務休暇 (～1/8 まで)
30	土	
31	日	

【 敬 弔 】

生前のご功労を深謝し謹んで哀悼の意を表します。(敬称略)

石見 信子（四日市組歴明寺前坊守）
（２０２３年１１月２０日寂）

【教務所の事務休暇（休止）についてのお知らせ】

下記期間を年末年始の事務休暇とさせていただきます。１月９日（火）より通常業務を行います。

① 年末年始休暇

2023 年 12 月 29 日（金）
～2024 年 1 月 5 日（金）

② 桑名別院報恩講代休

2024 年 1 月 22 日（月）

緊急連絡先　桑名別院
℡ ０５９４－２２－０６５２

同封書類

① ご坊さんだより
② 組門徒会員の任期満了に伴う改選について
③ 組門徒会員選定報告書
④ 組門徒会員選定に関するチラシ
⑤ 「教区制」・「組制」抜粋
⑥ 得度義務研修会の開催及び得度考査について
⑦ 法語ポスター

※ ②～⑦は寺院のみ

12 月以降(4 ヵ月)の行事予定は、ホームページで公開していますのでご確認ください。

QRコードはこちら➡